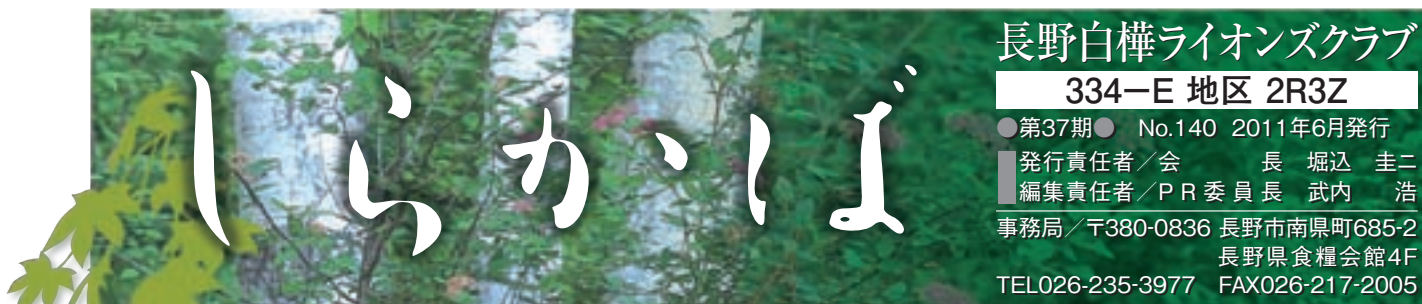




街頭献血アクティビティと 薬物乱用防止運動を実施

災害募金活動も急遽実施しました

3月20日(日)10:00～15:30 ながの東急百貨店前にて



献血と募金を呼びかけるメンバー



3月20日にながの東急百貨店前で献血アクティビティと薬物乱用防止運動を実施しました。

30名の会員が通行する皆様に献血を呼びかけた結果、合計72名・24,600mlのご協力をいただきました。

また、3月11日午後と12日早朝に発生した東日本大震災と栄村を中心とする県北部地震で被災された皆様に対しての義援金を呼びかけ、計336,587円もの善意を寄せていただきました。

ご協力くださった皆様に改めて心からお礼申し上げます。先日、日本赤十字社に届けました。

このたびの災害で亡くなられた皆様に心からお悔やみ申し上げます。

また被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早くお元気になられますよう、お祈り申し上げます。

新会員
紹介

新しい仲間です 一緒に奉仕活動に励みましょう

クラブ内新会員セミナーを開催

日々精進を決意!

クラブ内新会員セミナーに参加して

L. 木佐貫 祐治

4月22日に割烹さがみで開催されたクラブ内新会員セミナーに参加させていただきました。

講師のL.竹内良美からライオンズ用語を解り易く丁寧に教えていただきました。ライオンズクラブに入会したばかりの私にとっては大変興味深く、知識向上になる貴重な時間となりました。

当日ご出席いただいた役員、スポンサーの各諸先輩Lに心から御礼申し上げます。セミナー後の懇親会では和やかな雰囲気の中で激励をいただきました。数多くあるライオンズクラブの中でも、長野白樺ライオンズクラブに入会できたことに喜びを感じますと共に、スポンサーのL.小林克己には心より感謝致します。

諸先輩方からの貴重なお話やご指導を基に、長野白樺ライオンズクラブの一員として日々精進の決意です。ウォー!



L. 大日方 忠男
(3月23日入会)



L. 木佐貫 祐治
(4月13日入会)



奉仕活動の重要さを実感

日本・フィリピン合同医療奉仕活動に参加して

L. 高橋 ひろ子

第36回目となる日本・フィリピン合同医療奉仕活動が2月11、12の2日間、県内各クラブの所属医師らを含む約220人が参加して行われました。マニラ近郊の4カ所で内科・眼科・歯科の3チームに分かれ診察を行い、2日間で約8,000人が診察を受け、薬を処方、タオルや歯ブラシなどの支援物資も贈りました。また、フィリピン訪問中の国際会長も会場を視察されました。

今回初めて参加した私は、フィリピンの日常の決して衛生的ではない生活の現状を見て驚いた反面、皆が幸せそうに笑っている姿が印象的でした。

今回訪問した会場には順番を待つ人の長い行列ができ、沢山の現地の人が待ち望んでいる様子が見てとれました。歯科では歯を抜かれている子どもが誰一人泣いていないことに感心しました。子ども達は受診の貴重さをわかっているのでしょうか…緊張が伝わってきました。

会場に訪れる人の多さと毎年待ち望んでいると言っていた現地の人達の言葉を聞き、奉仕活動の重要さを感じ帰国しました。



現地ボランティアと薬を配布する筆者(右)

2.23 (2月第2例会)

参加した4名がリリーススピーチ フィリピン合同医療奉仕活動

2月第二例会は、第36回日本・フィリピン合同医療奉仕活動に参加した4名がリリーススピーチを行いました。

4人とも「会場に訪れる人の多さから奉仕活動の重要さをあらためて実感した。今後も活動を続けたい」と感想を述べました。



L. 中澤 和明



L. 高橋 ひろ子



L. 石田 和男



L. 池田 芳良

ご多忙の中、ご出席いただき、
すばらしいスピーチをしてくださった
皆様です。

ゲスト スピーチ



3/9 (3月第1例会)

ドリームモータース
クルの吉村征之専務
にゲストスピーチをお願
いしました。

吉村専務は、本田技研工業勤務時代に携わったF1レースでのアイルトン・セナとの交流や、レーシングマシンの開発などについて講演しました。



4/27 (4月第2例会)

長野ライオンズクラブ
第46代会長のL.山浦悦
子にゲストに招き、スピー
チをお願いしました。

L.山浦は2歳の時に父親が戦死。母1人、娘1人の環境で育ち「常にプラス思考を持ち続け、とことんぶつかってやって、挫折を許さない思いで人生を歩んできた」と振り返り、「チャンスは貯金できない。目の前にあるチャンスを活かすことで自分に力が湧いてくる」と強調しました。

ライオンズクラブ活動については「奉仕はお金を工面して、時間をつくってするもの。新しい人を入れて、新しい根っこを作ることも大切」と話し、「ライオンズクラブが大好き」と締めくくりました。



5/11 (5月第1例会)

県児童福祉施設連
盟東北信支部の西澤武
十支部長による「施設の
子どもたちと長野白樺ライ
オンズクラブのみなさん」と題してのゲスト
スピーチがありました。

西澤支部長は、日頃の協力に感謝するとともに「入所者に身寄りのない子どもはほとんどいない。親の暴力などで入所するケースが多くなってきている。子どもの心を理解できずに暴力をふるってしまう親が増えている」「私たちの働く環境は厳しいが、子どもの笑顔と成長、頼りにされている気持ちが働くバネになっている」と話しました。

春のゴミゼロ運動実施

事業福祉委員長 L. 関根 とひみ



5月14日(土)春のゴミゼロ運動が、
予定通り実施され、きれいな街づくり
に貢献できました。

長野市浅川ループ橋付近より、城山
公園まで3ルートで黄色いライオンズ
ジャンパーに身をつつみ、ごみ袋とごみ
バサミを片手に歩く会員の姿は素敵で
す。市役所指定の神社庁横にゴミを
集めました。

参加の皆様、ご協力ありがとうございました。



ビジョン委員長スピーチ



1.26 (1月第2例会)

1月第二例会では、ビジョン委員長のL.竹内良美が
スピーチしました。L.竹内は、当クラブでの指名委員
会の早期の立ち上げ理由を説明。「設立40周年は当
クラブをアピールする最大のチャンス。共鳴を呼ぶ事業
を計画してほしい」と呼びかけました。

また「当クラブのライオンは心がつながっている、奉仕により自分の人
間性を高めてほしい」と話しました。

健康例会スピーチ



2.9 (2月第1例会)

安茂里柳原整形外科理事長のL.柳原光國が「関
節痛」についてスピーチしました。

L.柳原は「膝関節軟骨の耐用年数は50年。サブリメ
ントの服用が、痛みを解消することは証明できていない」
などとパワーポイントを使って話し、筋力トレーニングでの予
防法などを説明しました。



和やかな中にも熱き闘い!

クラブコンペ開催

晴天に恵まれた5月15日(日)、
長野国際カントリークラブで恒例の
クラブコンペが開催されました。31
名のメンバーが優勝をめざし、和気
あいあいの中にも熾烈(?)な闘い
が繰り広げられました。

結果は次の通りです。

優勝	L. 山本 将泉
準優勝	L. 池田 芳良
三位	L. 中村 秀雄
B G	L. 近藤 洋
	L. 玉澤 章

ボーイスカウトの子ども達と完歩

信濃町古間駅～長野市城山公園までを元気に歩きました



子どもたちに完歩証とピンバッチを渡すメンバー

当クラブのメンバー 6人とLL3人は、5月14日に行われた「ナウマンロードの集い」で上水内郡信濃町のJR古間駅から長野市城山公園までの20kmを新緑を楽しみながら歩きました。

ナウマンロードの集いは、日本ボーイスカウト長野県連盟長野第15団が、遙か太古の昔、ナウマン象が残したと言われる道を、ロマンと自然への感謝の心をもって、日頃鍛えた体力と精神で、挑戦する心・あきらめない心を養うための団行事。今年で36回目を迎え、当クラブの継続支援事業です。

クラブメンバーは、朝6時31分長野駅発のJRで古間駅まで行き、ビーバー隊と一緒にスタート。ヤマザクラや木々の芽吹きを眺め、山菜を採りながら大人の遠足を楽しみました。30kmに挑戦して完歩したL.野村文孝は「来年もぜひ参加したい」と笑顔で話していました。

三役退任
あいさつ

皆様のご協力に感謝いたします。

会長 L.堀込 圭二



7月に就任後、8月に病気になりました。会員の皆様、また八役の皆様にも本当にご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。

会長として2ヶ月ちょっとしかできなかったもので、私としましてはもうただただ悪いという気持ちで一杯でございます。幸い病気もよくなりつつあります中で、何とかその恩返しをしなくてはと思っております。

また、私たちを取り巻く環境はより厳しい時代に入っております。地域密着型の住民の皆様との奉仕活動無くして、会員維持、増強は考えられません。どうか、ライオンズの将来の為に「変革」という言葉に徹してください。

最後になりましたが、クラブと会員企業の益々のご発展と、メンバー各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。お礼と退任の挨拶とさせていただきます。

幹事 L.小林 克己



会長スローガン「友愛と団結で奉仕」のもと会員皆様のご協力をいただき、この一年なんとか乗り切ることができました。

クラブ幹事の任務を遂行していく中で、ライオンズクラブに対しての考え方、行動等も勉強させていただきました。そして改めて長野白樺ライオンズクラブの団結力の強さを知ることができました。

私の経験不足のため、クラブ幹事としての本来の仕事が満足にできなかったにもかかわらず、担当副会長および委員長をはじめとして、皆様からのご協力に心から感謝申し上げます。このような素晴らしいクラブの幹事を務めさせていただき光栄に思います。一年間ありがとうございました。

会計 L.福島 久



堀込会長のもと、会計という大役をお引き受けしてから、早いもので一年が過ぎました。会員の皆様には温かい励まし、アドバイスやご指導、ご協力をいただき、無事、任を務めることができたと思います。

ただ残念なことに、堀込会長が病になり治療を余儀なくされ、思いを果たせなかったことが非常に残念でした。

皆様のご協力で一生懸命務めさせていただきました。一年間本当にありがとうございました。